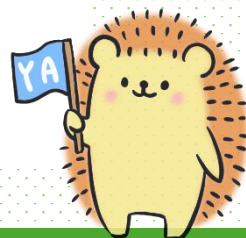


5・6月号のテーマ

グリーン不足なあなたへ



～緑の本を集めました～

緑が萌え出る5月にちなみ、5・6月は植物・自然・野菜など緑色をしたものの本、本の表紙が緑色の本、著者名に緑がつく本など、グリーンな本を紹介いたします。

『天地ダイアリー』

ささきあり／フレーベル館／ササ

中学1年生の木下広葉は過去のトラウマから軽度のマスク依存症に。新しい環境で出会った個性的な栽培委員らと植物を育て、自身も成長していく物語。自分を成長させたい人へおススメな一冊です。

『もしキミが、人を傷つけたなら、傷つけられたなら』

犯罪学教室のかなえ先生／フォレスト出版／326ハン

誰もが犯罪やいじめなどの被害者や加害者になる可能性がある世の中で、被害者にも加害者にもならないためのリアルがわかる本。元・少年院の先生が分かりやすく解説してくれる知識を味方に自分や身の回りの人を守ろう！

『英国王立園芸協会とたのしむ植物のふしぎ』

ガイ・バーター／河出書房新社／470バタ

身近にあるけど意外と知らない植物のこと。この本を読めば普段の通学路が違って見えるかも！？

植物に関する130個の問いと答えが写真やイラストで分かりやすく紹介されています。植物のことを全く知らない人にもおすすめてです。

『マリモを守る。』

千葉 望／理論社／47

丸くてかわいいマリモ。どうして丸い？どうやって守られてきた？その答えは、研究者の長い挑戦の中にありました。マリモについて丁寧に教えてくれるので、マリモのことを知っている方はもちろん、知らない方にもおすすめてです。

『ダリウスは今日も生きづらい』

アディーブ・コラム／集英社／933コラ

ペルシア系アメリカ人の高校生ダリウスは、学校でも家でも居場所がない。友人や父からの言動が気になる日々。そんなある日、母方の祖父の体調が思わしくないとの連絡を受け、母の故郷であるヤズドに一家で里帰りすることに。今までスカイプでしか会ったことのなかった家族、親友と思える友人との出会いがダリウスを変えていく。

家族や友達と心がつながる大切さを感じられる本です。

